

29年度 元気ハウスきたうら（小規模多機能型居宅介護）「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社水谷
代表者	水谷英明
事業所名	元気ハウスきたうら
管理者	梅川小夜子
法人の特徴	鍼灸、福祉、農業を手がけ、太田の生活に沿った会社経営を目指している。
事業所の特徴	地域住民の日常生活に溶け込めるように努めている

ホームページ

<https://kaigosien-kitaura.jimdo.com/>

出席者	
市町村職員	1
地域包括支援センター	
民生委員	1
地域自治会長	1
利用者	1
利用者家族	1
近隣事業所	1
事業所職員	4
駐在所	1
合計	11

A. 事業所自己評価の確認

前回の改善計画	話し合いの結果を元に更に改善できる方向に向かう。
前回の改善計画に対する取組み・結果	スタッフ個人個人の自己評価をもとに話し合いを行い、改善策を探るようにしている。

意見	<p>”できていない点”が挙げられている点から、スタッフが考えながら取り組んでいる姿勢がうかがえる。</p> <p>改善点の設定がシンプルであるから、それを基により具体的な取り組みを行っているようで結果が良い方向になっていると思う。</p> <p>前記のとおり、改善点がシンプルで達成も可能であると思う。</p> <p>個々具体的に自己評価していることがうかがえる。問題点や課題も盛り込まれており、今後の改善に大いに役立つのではないかと思う。</p>
今回の改善計画	<p>インシデントの検討を重点目標とする。社内のほかの事業所とも情報を共有し同じことが起きないように工夫をすること。</p>

B. 事業所のしつらえ・環境	
前回の改善計画	花壇の整備
前回の改善計画に対する取り組み・結果	敷地内の花壇への花植え（チューリップ、マリーゴールド、レモンバーム、ミント）、剪定の実行。敷地内の畑の利用（トマト、キュウリ、ナス、メロン）、道路沿いへマリーゴールド。
意見	とても明るく訪問時も接しやすい。利用者の方々の表情も明るい感じで、好感が持てる。
今回の改善計画	花や野菜などの植物が身近に感じられるように。自分の手で触れられるように。屋内には季節が感じられる工夫。

C. 事業所と地域のかかわり	
前回の改善計画	認知症カフェに出席したくなる工夫をして、多くの方に利用していただく。
前回の改善計画に対する取り組み・結果	広報を発行し、利用者のご家族の方、地域の方の参加を得ている。太田福祉交流会として10回開催した。

意見	<p>地域での認知度が高く評価も良い。それだけ信頼されている事業所であると推察される。</p> <p>地域との関りが多く、地元の中に自然に存在している印象。積極的に地域に関わっているという姿勢も見られる。</p> <p>地域との関りや社会資源について把握できていないスタッフがいるのがもったいない。</p>
今回の改善計画	全スタッフが地域の行事、資源を把握するため、ホームページを充実させる。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	
前回の改善計画	出張型の認知症カフェ、認知症窓口をやる。
前回の改善計画に対する取組み・結果	出張型の認知症カフェは実行できなかったが、太田福祉交流会としておおたコミュニティープラザにおいて10回開催した。他の介護保険事業所や地域包括支援センターとのとの連携を築くことができた。
意見	集まりやすい時間、場所、内容を考える。
今回の改善計画	社内の夏祭り、収穫祭、勉強会などを地域の方へ案内する。利用者の方の地域の行事への参加を支援する。（黄桜まつり、夏祭り、花見）

E. 運営推進会議を活かした取組み	
前回の改善計画	高齢者に限らず、幅広くつながりを持てるようにする。
前回の改善計画に対する取組み・結果	事業所の屋外での活動を多くすることで、道路を通る人とのコミュニケーションが持てた。yン栄についての様々なアドバイスや意見を聞くことができた。

意見	隔月での会議に参加させていただいているが、アットホームな雰囲気での会議だが内容は充実しており意見も言い易く大変有意義である。
今回の改善計画	運営推進会議で地域の情報を収集する。広報を回しながら、住民の方の意見や要望、ニーズを教えてもらおう。運営推進会議にフィードバックし、地域の支援策を立てる。

F. 事業所の防災・災害対策	
前回の改善計画	災害時の地域との連携を想定した訓練を行う。避難場所の確認。移動手段。
前回の改善計画に対する取組み・結果	年1回は、東分署に来ていただき、指導を受けている。その際に近所の方にも参加していただいた。毎月、避難訓練や通報訓練などを実施している。救急救命講習を行った。
意見	訓練に参加できなかったが、十分な内容であると聞いている。十分に信頼できる。 防災訓練には地域の方も参加しているのか。
今回の改善計画	地域の住民や災害対策を把握し、災害時の会社の役割をおさえておく。住民の方との連携を訓練しておく。災害から復興までの工程も確認、練習しておく。